

2025年
9月議会報告

大石 正信

日本共産党市会議員

党市議団政策調査会長
経済港湾常任委員会
富野校区まち協・副会長
富野児童クラブ運営委員長
保護司



市長質疑で質問する大石正信市議＝9月29日

物価高騰対策に伴う 中小企業支援

今年11月16日から、福岡県の最低賃金が1057円に引き上げられます。最賃の引き上げは、労働者の生活向上につながる一方で、価格転嫁が進まず、社会保険料の事業主負担が重くのしかかる中小零細業者には重大な影響が及ぶことが予想されます。

①賃金への直接助成を行うこと
②中小零細業者の駆け込み寺となるフンストップの「物価高騰対策窓口」を設けることを提案し、中小零細業者支援の強化を求めました。しかし市長は、現行の支援策を紹介するにとどまり、物価高騰に苦しむ中小零細業者の切実な願いに応える姿勢を示しませんでした。

事務事業の見直し

昨年「市政変革推進プラン」で、福岡朝鮮学園や私立学校への助成金削減、美術館鑑賞事業や平和のまちスタディツアーの廃止、文学サロンの閉館、美術館分館の休館など関係者の合意も十分な検証もなく市民の身近な予算を削減したことは問題です。

特定利用空港＝軍事訓練

昨年4月、市は市民や議会に一切説明もなく北九州空港の「特定利用空港」の選定を受け入れました。その結果、昨年10月には日米合同訓練「キーンソード25」、今年6月には築城基地所属のF2戦闘機によるタッチアンドゴー訓練を強行。本市の「非核平和都市宣言」と軍事訓練は矛盾します。市は国に、北九州空港の軍事利用の中止を求めるべきです。

みなさんと力をあわせて

須賀町 大雨被害

8月10日の大雨で、土砂が道路にあふれ出しました。翌日、役所に通報し、速やかに撤去されました。



下富野5ハト被害

市宮下富野団地にお住まいの方から「空き部屋に鳩が飛び込み、糞をして困っている」との声。空き室にはネットを一部設置しました。



桜丘小 樹木剪定

桜丘の方から「桜丘小学校の樹木の葉が住宅に落ちてきて、清掃が大変」との声。この度、樹木の剪定が完了。



神岳団地 樹木剪定

市宮神岳団地にお住まいの方から「樹木の剪定をしてほしい」との声が寄せられました。市に樹木剪定を要望中です。



白銀1丁目 樹木剪定

白銀にお住まいの方から「樹木が歩道にはみ出てきて通行できない」との声。この度、樹木が剪定されました。



黒原・生協跡 スーパー出店

「黒原生協跡に買い物ができるお店がほしい」との要望が寄せられていましたが、この度、来年6月に「大手スーパー」が開業することになりました。



市民の声を届けた9月議会

日本共産党市会議員団は、国の大軍拡、福祉切り捨ての政治と正面からたたかうとともに、ムダな大型開発事業に歯止めをかけ、深刻な物価高から市民のくらし・中小零細業者の生業を守り、市民が主人公の市政を実現するために全力で取り組みます。



がけ崩れ

「自助努力では限界」市は独自支援を

北九州市では8月9日から大雨で全壊1件を含む90件の被害が発生し、市内20か所以上でがけ崩れが起きました。住宅や道路に土砂が流入し、市民生活に深刻な影響を及ぼしています。

市議団は「自助努力では限界だ」と指摘し、融資頼みでなく他都市のような工事費補助など、市独自の公的支援を早急に検討すべきだと強く求めました。



質疑応答の時間には、今年8月の大雨災害に関するものが多く出されました。過去にも大雨災害はありましたが、これほどの被害が若松区で出たのは初めての経験であり、多くの課題が浮き彫りになりました。

気候変動の影響で、今後はこれまでの以上の規模の災害に備える必要があります。市議団は国と連携し、市が防災と減災の取り組みをしっかりと進められるよう働きかけてまいります。

市政懇談会

67人が参加



反対討論

不十分な物価高騰対策、ムダな大型開発、北九州空港での軍事訓練など、11件の議案に反対しました。詳しくは、日本共産党北九州市会議員団のホームページをご覧ください。



長提出議案の詳細はコチラ

反対した議案の主な内容

- 物価高騰対策
- 大型開発事業
- 予算事務事業の見直し
- デジタル市役所・業務量調査
- 血倉山ロングスライダー
- 職員の長時間勤務
- 教員の働き方
- マイナ保険証
- 国民健康保険料
- 特定利用空港に選定された北九州空港
- 門司港地域複合公共施設建設整備事業

日本共産党各議員の常任委員会配置(◎委員長、○副委員長、☆議会運営委員)

総務財政委員会	経済港湾委員会	教育文化委員会	保健福祉委員会	環境水道委員会	建設建築委員会
永井 佑	大石 正信	◎高橋 都	伊藤 淳一	○荒川 徹	☆山内 涼成
		宇土浩一郎			

お困りごとは、お気軽に相談ください

無料 生活・法律相談

電話 093-555-3309
毎週水曜日 18時 砂津2丁目5-13



大石正信市政事務所

FOR ONE MILLION SMILES

100万人の笑顔のために

市議会ニュース
2025.10.22
No.596



発行 日本共産党北九州市会議員団 北九州市小倉北区城内1-1 TEL (093) 582-2646・FAX (093) 582-4113

日本共産党北九州市議団 ホームページ→

佐賀空港に 17 機配備

オスプレイを視察しました

佐賀空港でオスプレイを視察



8月26日、日本共産党北九州市議団は、佐賀空港を訪れ、配備が完了したオスプレイを視察しました。滑走路を使った離着陸訓練が繰り返され、独特の重低音を響かせる飛行を間近に確認しました。

「飛行ルートはパイロット」まかせ

佐賀県や九州防衛局の担当者は「住宅地や病院上空は制限する」と説明しましたが、「最終判断はパイロットに委ねられる」とされ、市民の安全が守られない実態が浮き彫りになりました。

相次ぐ事故と“オスプレイ大国”

オスプレイはこれまでも、沖縄・与那国駐屯地での機体損壊事故や、屋久島沖での墜落死亡事故など重大事故を繰り返しています。原因究明がなされないままの運用に、市民の不安は高まるばかりです。オスプレイの正式採用は、世界でもアメリカと日本だけ。日本は“オスプレイ大国”であり、その負担は住民に重くのしかかっています。



北九州市でも低空飛行の危険

防衛省は九州7県85か所での低空飛行訓練の可能性を示しており、市内では小倉駐屯地、曽根訓練所、富野分屯地周辺などが対象とされています。高度300メートル以下の低空飛行や夜間訓練が計画され、住宅地や学校、病院のすぐそばの飛行が懸念されます。

市長に「飛行中止」を申し入れ

こうした現状を受け、市議団は9月9日、市内市長に対して「北九州市上空でのオスプレイ飛行中止を求める」申し入れを行いました。



市民とともに安心のまちへ



安心して暮らせる北九州を守るために、これからも市民のみなさんと力を合わせて取り組みます。



— 2025年 — 学校ウォッチング

特に注視したのは「雨漏り」問題。雨漏りしている学校が増えてきています。今年度、国からの交付金が下りずに大規模改修が中止になった守恒小学校も酷い状態でした。予算がないからと後回しにするのは、天井落下の原因になる等とても危険です。

雨の降り方が変わり災害級の大雨が増えてきた中、雨漏りの改善は喫緊の課題です。早急な対応をと、懇談で申し入れます。

改善要望の実現

2023年度の学校ウォッチングで指摘していた清水小学校のグラウンド。2025年8月に工事の一般競争入札が公告されました！

「新しいのに石がゴロゴロ出てくる」と、教育委員会との懇談でも注目された箇所です。参加者のみなさんの力で、運動場の改修が実現します。

今年も実施しました！

各区2校ずつ、学校施設チェックに行きました！教育委員会との懇談は、10月中旬を予定しています。子どもの安全と学ぶ環境の改善に向けて、取り組んでいきます。



2025年学校ウォッチングの様子



2023年度学校ウォッチング(清水小)



学校給食の無償化はいつ？



▶ 国の動向を注視する

国が無償化にかかる制度の考え方や具体的な内容を示していないなか、詳細な制度設計を行うことは難しい状況であるとし、開始時期や対象者については明言しませんでした。

▶ 超限定的に免除

北九州市は9月議会において、小学校6年生と中学校3年生の給食費を3ヵ月免除する補正予算を計上しました。期間は、R8年1～3月分です。

この免除を提案するにあたって、先日発足した「学校給食プロジェクトチーム」は関与していません。検討するまでもなく、市長の意識次第で学校給食の無償化は実現できます。

▶ 本議会・委員会で実現を求める

学校給食の無償化を実現してほしいという市民の願いに応えるよう要望しました。限定的な免除がはじまる年明けに、すべての学年で学校給食の無償化を実行すべきです。

「北九州食堂」オープン！

9月8日、北九州市役所の地下に、待ちに待った食堂がオープンしました。職員食堂は単なる「食事提供の場」ではなく、健康維持・働きやすさ等を支える大切な福利厚生の一環です。

職員の福利厚生は…？

健康面への配慮、利便性と効率性、コストパフォーマンスなどが求められます。が、メニューの値段は高め。市は「社員食堂を通した健康づくり」や「毎日プラス一皿の野菜」を推奨しているものの、定食にサラダはなし。「良い福利厚生」へ改善するために、食堂への補助を市に求めました。

